



この冬はしっかりと寒く、子ども達の冷たい手に触ると静電気がびりびり！どんなに寒くても、外で遊びたい子ども達が愛おしいです。そしてここまでインフルエンザはほとんど皆無、風邪でお休みもとても少なかったもので、嬉しい限りです。

発表会が無事終わり、今年も本当に素敵な作品ができました。予期せぬ事態も発表会の最中に起こっても、子ども達が自分の頭で考えて問題解決したり、友達をさりげなくフォローしたりすることを目にしました。そんな時に、幼稚園生活の経験で培われた子ども達の力を感じるのです。困っている友達は自然に助けられる、素敵なシーンを何度も見せてもらいました。

ひとつの劇を作り上げる、という共通のイメージと音楽で、どんな子も自分の思う通りに表現できるこの作品づくりはまさに世界にひとつだけのものです。

支援の必要なお子さんも一緒に、行ないました。発表会には出ない、とお決めになった保護者の方もいらっしゃる。それもひとつの表現として受け止めています。色んな表現方法を、認めていける世の中であって欲しいです。臼井幼稚園は、色んな子どもがいて、みんな違ってみんないい。かっこいい理念とか、「こういう子を育てます」とか、机上の理想は不要だと思っています。子ども達はみんな生きていて、煌々しい。枠にはめられないからこそ美しいのです。

アクティブラーニングと文科省が推進している小学校教育は英会話もタブレットも取り入れてはいますが、本当に一人ひとりが得意なことを好きなように伸ばせる環境にあるのか？疑問を覚えずにはいられません。

幼稚園では年長の3学期頃に、個性がぐっと出てきます。私の感覚ですが、際立ってくるのが3学期、もっと早い子ももちろんいます。そうすると、もう卒園を迎えます。寂しくて晴れやかな旅立ちの日。この個性をどんどん伸ばして行って欲しいです。そのためには、親御さんのお子さんへの向き合い方が大変大切です。全面的に自分を受けて入れてくれる親御さんがいるからこそ、子どもは社会でもやっていけるのです。親御さんに信頼され、愛されているからこそ、先生を信頼できる子どもに育ちます。絶対に受容されている子どもは自己肯定感があり、生きていく力が自然に身につきます。

世の中が、お母さま方も働くことを求め、そうしなければ生活するのが難しいように政治が仕向けています。だから保育園を乱立しているのです。そこで抗うにはあまりに無力で、ただただ経済的につらくなるだけ。。怒りでいっぱいですが、仕方がない。

それでもいい教育を、と臼井幼稚園を選んでくださった皆さまに、いつも感謝しています。これからも努力して参ります。

園長 志田裕美子

<担任から今月のメッセージ>

2月といえば節分ですね！

鬼が嫌だという子はいなく、

「今日鬼やっつける日だね！」

「鬼は一外！ってしようね！」

と、倒す気満々で心強いみんなでした。

準備万端で待っていると、ドアではなく窓から入って来た鬼に驚いていましたが、思い切り豆を投げていました！

少しシクシクする子、力が入りすぎて豆を床に投げる子、鬼に捕まってしまう子、

「鬼は一外！福は一外！」

と言っている子もいましたが、無事に退治することができました！

「怖くなかった！」

「勝ったよー！」

と、終わった後に嬉しそうに話してくれました。

そして発表会ですね！

お忙しい中来ていただきありがとうございました。

園長も話していましたが、秋の終わり頃に予定していた劇ではなくなり、たくさんの先生たちのアイディアでできた、いちご組さんオリジナルの『オズの魔法使い』でした。

発表会前参観で、保護者の皆様に動いていただいた戦いの場面も、本番までに変わっていたのです！

当初は最後の2回だけ主人公のドロシーが攻撃する予定でしたが、いちご組さんならもっと難しい動きができる！と、最後の曲の序盤からお互い攻撃をして、ドロシーと魔女の掛け合いが増えましたし、魔女の「わっはっはっはー」という怖い笑いと、ドロシーの「よーし、頑張るぞー！」という気合いを入れるセリフが増えました。ライオンとドロシーが出会う場面では、一週間前まで動きを増やし、発表会前日にセリフが一つ増えました。

いちご組さんならできる！と、よりみんなの表現が出やすい動き、より役に入り込めるようなセリフの提案があり増えたのですが、最後まで一緒に作ってくれたみんなに、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

本番では、今までで1番セリフが大きな声で自信を持って言っていましたし、そして何よりとても可愛くて、動画を見るたび可愛い！が止まりません！

本当にたくさんのご協力、ありがとうございました。

2/17から新しいお友達が増えました！

ふあていまちゃんと言います。まだまだ慣れていないと思うので、これからみんなで仲良く、たくさん遊べたらと思っています！

4月を思い出すと、あんなに可愛かったみんなが、優しくて友達思いなお兄さんお姉さんになり、たくさんの成長をととても近くで見ることができて幸せだったと思う反面、進級するともういちご組ではなくなってしまうんだと寂しく思います…

ですが残り数日！

みんなと笑い、楽しみ、最後までたくさんの思い出を作っていけたらと思います！

杉本 ゆうが